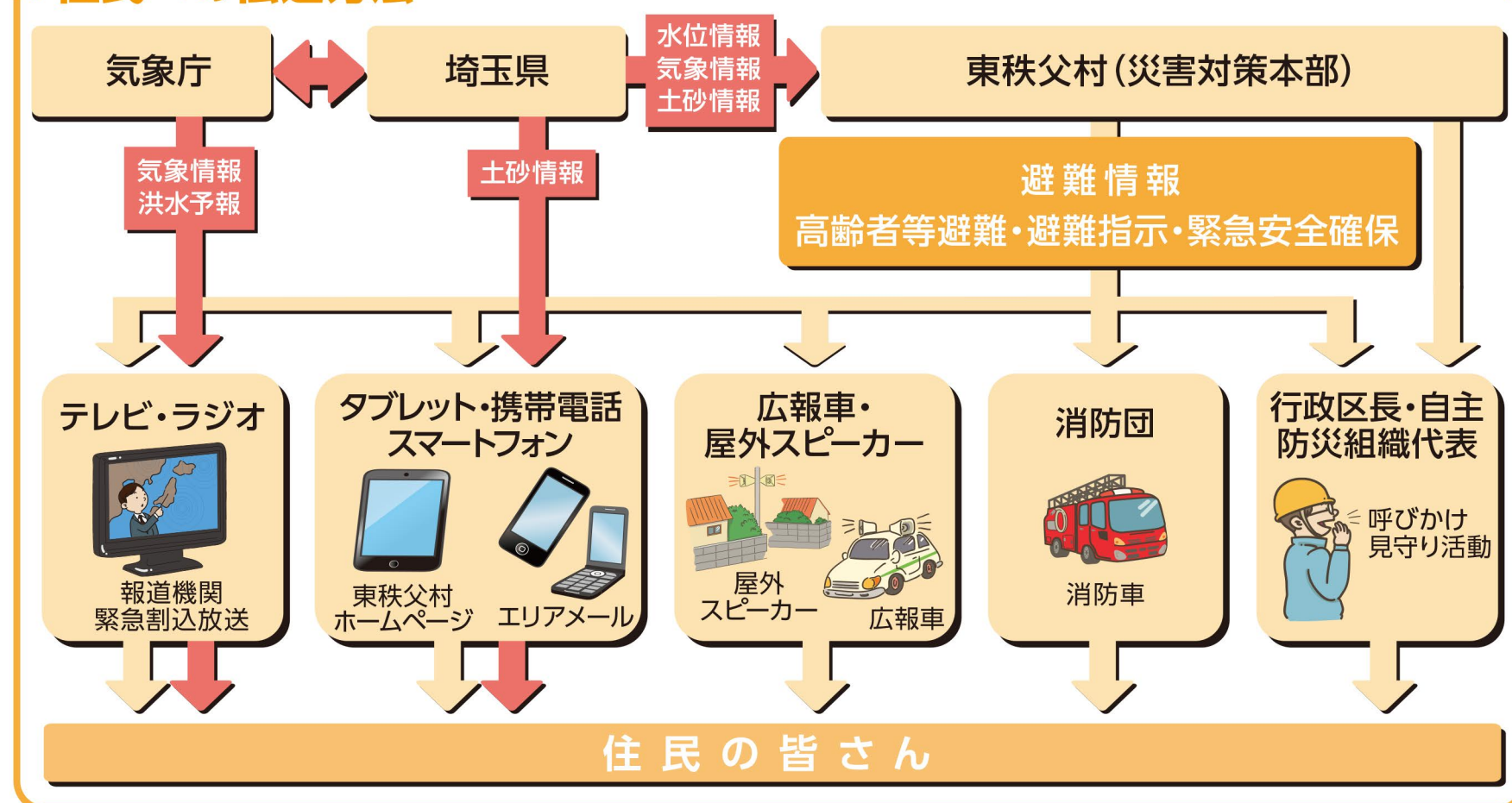


災害時の情報伝達

▼住民への伝達方法



▼全国瞬時警報システム(J-ALERT)について

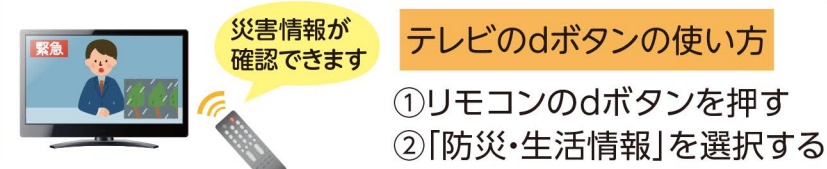
緊急地震速報や弾道ミサイル情報といった対処に時間的余裕のない事態が発生した場合に国が人工衛星を用いて情報を発信し、屋外スピーカーで直接住民に伝達するシステムです。

▼屋外スピーカーとタブレットで情報収集

東秩父村では、災害に関する情報は、屋外スピーカーとタブレット、エリアメールでお知らせしています。屋外スピーカーによる音声情報を聞き逃しても、タブレットによる文字情報で再確認できます。確実に伝えなければいけない大事な情報を、音声と文字で迅速かつ明確に発信し、皆さまの安心・安全な暮らしをサポートします。

◆情報を集めましょう◆

テレビで情報確認



気象庁

防災情報、天気、キキクル(危険度分布)、大雨・大雪、地震・火山情報など

気象庁 検索



Yahoo! 防災速報

雨予報をはじめ、さまざまな災害情報をプッシュ通知でお知らせします



App Store

Google Play



埼玉県水防情報システム

雨量情報、水位情報、河川監視情報(カメラ画像)など

埼玉県水防情報システム

検索



埼玉県土砂災害警戒情報システム

土砂災害警戒情報、土砂災害発生の危険度など

埼玉県土砂災害警戒情報システム

検索



避難の方法

避難は学校や集会所といった指定緊急避難場所への移動ではありません。住んでいる地域やそのときの状況、人によって方法は異なります。普段からどう行動するか決めておきましょう

■立退き避難

- ・指定避難所、避難場所
- ・安全な親戚、知人宅
- ・安全なホテル、旅館
(宿泊料が必要です。ハザードマップで安全かどうかを確認し、予約しましょう)

■屋内安全確保

ハザードマップで自宅にいても問題ないか確認する必要があります。

- ・「家屋倒壊の危険性のある区域」に入っていないこと
- ・浸水する深さより居室が高いこと
- ・水が引くまで我慢でき、水、食料などの備えが十分にあること

■緊急安全確保

「緊急安全確保」とは、「立退き避難」を行う必要がある方などが、避難し遅れ、災害が発生・切迫し、安全に「立退き避難」ができない場合に、命の危険から身の安全を可能な限り確保するため、その時点での場所よりも相対的に安全である場所に直ちに移動等すること。

- ・自宅の少しでも高い場所に移動
- ・近隣の少しでも高い建物に移動
- ・がけから離れた部屋に移動

避難所について

避難所では生活ルールを守りましょう

- 起床や就寝の時間、トイレの使い方、喫煙場所、ペット同伴の可否など避難所のルールを守りましょう。
- ほかの人の居住スペースに立ち入ったり、のぞいたり、大声をあげたりするのはマナー違反です。

役割分担して運営に参加しましょう

- できる範囲で、受付や清掃、炊き出し、物資の配布など役割分担をしましょう。
- 皆さんで助け合いながら避難所運営に参加しましょう。

ベッドやプライバシー確保に努めましょう

- 段ボール型のベッドは足腰の弱い方に有効です。
- プライバシー確保のために間仕切り(パーテーション)などを活用しましょう。

～飼い主が備えておくべきこと～

ペットの避難

ペットは、避難者がいるスペースから離し、決められた場所につないだり、持参したケージ(おり)等に入れたりするなど、飼い主が責任を持って世話しましょう。

■災害時の心構え

避難所には、動物が苦手な人やアレルギーのある人などさまざまな人がいるので、周りの人に配慮しましょう。

■ペットのしつけと健康管理

普段からケージやキャリーバッグ等に慣れさせておき、決められた場所で排泄ができるようにしておきましょう。予防接種や寄生虫の駆除をしておきましょう。

■ペットの避難用具・備蓄品の用意

食料やリード、キャリーバッグ等、避難先での飼育に必要なものをあらかじめ用意しておき、持参しましょう。ペット用の避難物資が届くまでには時間がかかる場合があるので、7日分は用意しておきましょう。